

令和4年度 事業報告書

I 事業概要

広く県民一般に対し、原子力及びその平和利用に関する知識の普及啓発を行うことにより、これらに対する認識を高め、もって原子力の平和利用の円滑な推進に寄与することを目的として、次の事業を実施した。

実施に当たっては、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底するとともに、感染拡大期には参加人数を絞り可能な限り計画事業の執行に努めたが、令和4年度は感染者数が過去最多となったこともあり、参加者が低調であったり、一部中止せざるを得なかった事業もあった。

II 事業

1 エネルギーの明日が体験できる「ふれあい広場」の維持管理及び運営

(1) 展示ホールの運営（県受託事業・普及啓発事業）

原子力発電の仕組みや放射線、発電所の安全対策や県の環境放射線監視体制などについての展示物を、来館者へ公開した。

利用人数の推移

(単位：人)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
開館総日数	338	335	324	343	341
見学者総数	1,932	1,801	713	619	552
前年度対比	95.1%	93.2%	39.6%	86.8%	89.2%
見学者累計	156,604	158,405	159,118	159,737	160,289

(2) 展示ホールの保守管理【県受託事業】

展示物の保守管理及び必要な修繕を実施するとともに、最新の情報提供に努めた。

- ・展示物「原子力情報BOX・伊方発電所Q&A」運用保守監視
- ・展示物「安全探査シミュレータ」修繕
- ・展示ホール1階照明器具修繕
- ・展示物「原子力情報BOX（放射線量MAP）」修繕
- ・展示物「放射線測定実験装置」修繕 他5件

2 原子力及びその平和利用に関する広報研修活動

(1) 放送放映事業の実施【普及啓発事業】

○八西CATVを利用し、知識啓発素材のテレビ放送を行い、放射線の正しい知識の普及啓発に努めた。

素 材 ①「放射線ってなあに？」(16分)

②「原子力災害に備える住民避難」(39分45秒)

期 間 ① 令和4年7月9日～令和4年12月25日
 ② 令和4年9月10日～令和4年9月25日

回 数 ① 20回 (1日1回17:00～17:16)
 ② 4回 (1日1回17:00～17:40)

放送業者 (一財)八西CATV

○新たな知識啓発素材の制作を行った。

素 材 「身近な放射線～正しく知って正しく恐れよう～」(9分)

制作業者 (一財)八西CATV

(2) 新聞折込広報の実施【県受託事業】

原子力・放射線関連のチラシを作成し、新聞折込広告により原子力・放射線の正しい知識の普及啓発及び広報センターの行事案内や参加者募集に努めた。

	印刷部数	折込時期
1回目	64,070枚	令和4年10月27日
2回目	64,070枚	令和5年 1月19日

折込新聞 愛媛、朝日、毎日、読売、産経の5紙

折込地域 伊方発電所周辺地域 5市2町

(3) 原子力講演会の実施

① 講演会【県受託事業・町受託事業】

原子力や放射線をテーマとした講演会を開催し、県民を対象に広く原子力の知識の普及啓発に努めた。

ただし、伊方会場については新型コロナウイルスの感染拡大により中止し、宇和島会場については当日暴風雪警報が発令され、安全確保のため中止した。

○開催した講演会

原子力講演会伊予会場【県受託事業】

開催日時 令和5年1月28日(土) 13:30～15:30

開催場所 ウェルピア伊予 銀河の間

演 題 「カーボンニュートラルについて」

講 師 (一財)日本エネルギー経済研究所

環境ユニット 担任補佐 研究主幹

佐々木 宏一 先生

参加者 24名

原子力講演会松山会場【県受託事業】

開催日時 令和5年2月4日(土) 13:30～15:30

開催場所 愛媛県武道館 大会議室

演 題 「2050年カーボンニュートラルと原子力の役割」

講 師 独立行政法人経済産業研究所 コンサルティングフェロー

東京大学公共政策大学院特任教授

有馬 純 先生

参加者 30名

○中止した講演会

原子力講演会伊方会場【町受託事業】

開催日時 令和4年9月15日(木) 13:30~15:30

開催場所 伊方町役場6階 大会議室

演 題 「海外のエネルギー事情と日本のエネルギー選択」

講 師 近畿大学 副学長 理工学部教授

渥美 寿雄 先生

原子力講演会宇和島会場【県受託事業】

開催日時 令和5年1月24日(火) 13:30~15:30

開催場所 宇和島市吉田公民館 大ホール

演 題 「消費者の視点で考えるエネルギー・環境」

講 師 NPO 法人あすかエネルギーフォーラム 理事長

元 内閣府原子力委員

秋庭 悦子 先生

② 自治体向け放射線セミナー【県受託事業】

30キロ圏内の自治体職員を対象にセミナーを開催し、放射線の正しい知識の普及啓発に努めた。

開催市町 伊予市

開催日時 令和5年2月7日(火) (計2回)

10:00~11:30

13:30~15:00

開催場所 伊予市役所 4階 大会議室

演 題 「放射線の基礎知識」

講 師 愛媛大学 客員准教授 医学博士 増田 晴造 先生

参加者 31名

③ 一般向け放射線セミナー【町受託事業】

伊方町内の住民を対象にセミナーを開催し、放射線の正しい知識の普及啓発に努めた。

○瀬戸地域：足成地区

開催日時 令和4年9月4日(日) 8:30~9:40

開催場所 足成集会所

演 題 放射線被ばくによる人体への影響

講 師 長崎大学 原爆後障害医療研究所

国際保健医療福祉学研究分野 助教 松永 妃都美 先生

参加者 18名

○三崎地域：高浦地区

開催日時 令和4年9月4日(日) 8:00~9:10

開催場所 高浦集会所
演 題 放射線被ばくによる人体への影響
講 師 長崎大学 原爆後障害医療研究所
国際保健医療福祉学研究分野 教授 高村 昇 先生
参加者 25名

④ 教員向け放射線セミナー【普及啓発事業】

30km圏内の教職員を対象にセミナーを開催し、放射線の正しい知識の普及啓発に努めた。

開催日時 令和4年10月12日（水）15:00～15:30
開催場所 伊予市役所 4階 大会議室
対 象 伊予市の小中学校教職員
演 題 放射線の基礎知識
講 師 愛媛大学 客員准教授 医学博士 増田 晴造 先生
参加者 16名

⑤ 団体向け放射線セミナー【町受託事業・普及啓発事業】

30km圏内の団体を対象にセミナーを開催し、放射線の正しい知識の普及啓発に努めた。

普及啓発事業のセミナーについては、施設内での新型コロナウイルス感染症の発生等により中止となった。

○実施したセミナー

【町受託事業】

開催団体 伊方町壮年会
開催日時 令和4年10月26日（日）13時00分～14時30分
開催場所 生涯学習センター 5階 多目的ホール
演 題 「放射線の基礎知識」
講 師 愛媛大学 客員准教授 医学博士 増田 晴造 先生
参加者 19名

○中止したセミナー

【普及啓発事業】

開催団体 介護老人保健施設 青葉荘
開催日時 令和5年2月21日（火）14:00～16:00
開催場所 介護老人保健施設 青葉荘（八幡浜市）
演 題 「放射線の基礎知識」
講 師 愛媛大学 客員准教授 医学博士 増田 晴造 先生

⑥ 子ども放射線出前セミナー【県受託事業・町受託事業】

30km圏内5市2町の小中学校及び三崎高等学校の10校を対象にセミナーを開催し、放射線の講義や簡易放射線測定器による放射線の測定のほか、霧箱による放射線の観

察を行い、放射線に関する正しい知識の普及に努めた。

市町名	学校名	受講学年	開催日	児童生徒 人数	事業
大洲市	粟津小学校	5. 6年	令和4年11月 2日 (水)	30	県受託事業
西予市	多田小学校	5. 6年	令和4年11月22日 (火)	15	
内子町	立川小学校	5. 6年	令和4年11月25日 (金)	6	
八幡浜市	千丈小学校	5. 6年	令和4年11月29日 (火)	28	
大洲市	三善小学校	5. 6年	令和4年11月30日 (水)	13	
八幡浜市	松蔭小学校	6年	令和4年12月 7日 (水)	22	
宇和島市	立間小学校	5. 6年	令和4年12月13日 (火)	2	
小学校 7校 計				116	
伊予市	伊予中学校	3年	令和4年10月26日 (水)	62	
伊方町	三崎中学校	全学年	令和4年11月15日 (火)	21	
中学校 2校 計				83	
愛媛県立三崎高等学校		1年	令和5年 1月13日 (金)	42	町受託事業
高等学校 1校 計				42	
全10校 計				241	

講 師 愛媛大学 客員准教授 医学博士 増田 晴造 先生

⑦ エネルギー講座【普及啓発事業】

伊方町の小学生を対象に、ロボット等の機械を利用しエネルギーについて楽しく学ぶ講座を開催した。

開催日時 令和4年8月10日 (水) 13:00～15:30

開催場所 伊方町民会館 2階 視聴覚室及び愛媛県伊方原子力広報センター
2階 展示ホール

内 容 ロボットの実演、簡易ロボットの工作、電気・エネルギーの話

講 師 八幡浜工業高校教師5名及び生徒14名

参 加 者 九町小学校児童13名、引率教員2名

⑧ 子ども科学教室【普及啓発事業】

きなはいや伊方まつりに併せて伊方町及び八幡浜市等の子どもを対象にサイエンスショーや工作教室を開催し、エネルギーについて楽しく学びエネルギーの重要性を啓発する予定だったが、新型コロナウイルス感染対策のため、室内イベントが中止となったことに伴い同事業も中止となった。

⑨ 子ども工作教室【普及啓発事業】

伊方町の小学生を対象に、工作を通じてエネルギーについて楽しく学ぶ教室を開催した。

開催日時 令和5年2月26日(日) 13:30～15:30

開催場所 伊方町民会館 3階 研修室

内 容 振動で動くたわしを作ろう
 講 師 愛媛県総合科学博物館 学芸課科学・産業研究グループ
 専門学芸員 藤本 光章 氏
 参 加 者 子ども18名 保護者12名

(4) 簡易放射線測定器貸出【県受託事業】

個人 なし
 団体 なし

3 原子力及びその平和利用に関する各種資料の作成及び刊行

(1) 広報用リーフレット「えひめ原子力だより それいゆ」の発行、配布【県受託事業】

県の原子力防災に関する取組状況、環境放射線等調査結果等を掲載した広報用リーフレットを発行、配布した。

内 容 環境放射線等調査結果、原子力関係情報、各種行事案内
 癒しに満ちたえひめのアニマルツーリズム 他
 発 行 年4回 67,600部×4回
 配 布 先 30km圏内の5市2町は全戸配布（一部、地区単位の回覧での閲覧あり）、県内の市町、コンビニ・スーパー、関係機関及び周辺6県

(2) 広報資料冊子の購入、配布（県受託事業・町受託事業・普及啓発事業）

原子力、放射線関連の資料冊子を購入し、セミナー参加者や来館者等に配布し、正しい知識の普及啓発に努めた。

種 類	購入部数	配 付 先
【県受託事業】		
「原子力総合パンフレット2022」	400部	セミナー、講演会、見学会、 展示ホール来館者等
「いま知りたい からだと放射線」	400部	
【町受託事業】		
「原子力総合パンフレット2021」	200部	セミナー、講演会、見学会、 展示ホール来館者等
「いま知りたい からだと放射線」	400部	
【普及啓発事業】		
「いま知りたい からだと放射線」	110部	セミナー、展示ホール来館者等

(3) 広報用カレンダーの作成、配布【町受託事業】

原子力関連情報を記載した広報用カレンダーを作成して伊方町全戸に配布し、日々の生活の中での身近な広報啓発に努めた。

題 材 「いかタイムトラベラー」、放射線ミニコラム
 作成部数 4,850部
 配 布 先 伊方町内全戸、町内公共施設、関係機関等

(4) 広報用資料の作成、配布【普及啓発事業】

- 原子力関連情報を記載した広報用うちわを作成し、「きははいや伊方まつり」、「瀬戸の夕風祭り」、及び「三崎地域夏祭り」で配布した。

作成本数 2,350本

- 原子力関連情報を記載した広報用付箋を作成し、各事業参加者へ配布した。

作成部数 1,000部

4 原子力及びその平和利用に関する各種資料の収集及び公開

(1) 閲覧資料整備【町受託事業】

新聞7紙の原子力関連記事を、収集・データベース化した。

原子力関連新聞記事の収集件数

新聞名	件数	新聞名	件数
朝日新聞	525件	日本経済新聞	591件
毎日新聞	700件	日刊工業新聞	281件
読売新聞	512件	愛媛新聞	821件
産経新聞	435件	合計	3,865件

(2) 情報発信収集の実施

① インターネットによる情報発信・収集【普及啓発事業】

ホームページに原子力、放射線関連の情報や各種事業の案内等を掲載し、リアルタイムの情報提供と知識の普及啓発に努めた。

令和4年度アクセス件数 3,543件

② インターネットによる情報収集【県受託事業】

展示ホールのパソコンを、来館者に無料開放した。

5 原子力施設見学の指導及び実施

愛媛県民を対象に、原子力関連施設の見学会を実施し、原子力に対する知識の普及啓発に努めた。

(1) 一般見学会【県受託事業】

愛媛県民を対象に、見学会を5回実施した。

実施日	参加人数
令和4年11月22日(火)	7名
令和4年11月29日(火)	23名
令和4年12月2日(金)	6名
令和5年2月16日(木)	10名
令和5年2月22日(水)	16名
合計	62名

見学施設：伊方発電所（2月実施の2回のみ）・伊方ビジターズハウス
愛媛県原子力センター・伊方原子力広報センター

(2) 団体見学会【県受託事業・町受託事業・普及啓発事業】

防災エリア30km圏内の各種団体を対象に、見学会を5回実施する予定であったが、参加を希望する団体がなく実施に至らなかった。

事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。

貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

(単位: 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	33,358,801	35,533,286	△2,174,485
普通預金	358,801	2,533,286	△2,174,485
伊予銀行伊方支店	358,801	2,497,657	△2,138,856
愛媛信用金庫八幡浜支店	0	35,629	△35,629
定期預金	33,000,000	33,000,000	0
未収金	9,734,121	8,930,186	803,935
流動資産合計	43,092,922	44,463,472	△1,370,550
2 固定資産			
(1) 基本財産			
現金預金	6,000,000	6,000,000	0
基本財産合計	6,000,000	6,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	6,467,807	5,878,641	589,166
減価償却引当資産	1,316,283	1,360,532	△44,249
特定資産合計	7,784,090	7,239,173	544,917
(3) その他固定資産			
什器備品	2,384,180	1,440,600	943,580
減価償却累計額 △	2,193,117	1,293,789	899,328
その他固定資産合計	191,063	146,811	44,252
固定資産合計	13,975,153	13,385,984	589,169
資産の部合計	57,068,075	57,849,456	△781,381
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	6,396,909	7,520,002	△1,123,093
預り金	53,733	71,378	△17,645
流動負債合計	6,450,642	7,591,380	△1,140,738
2 固定負債			
退職給付引当金	6,467,807	5,878,641	589,166
固定負債合計	6,467,807	5,878,641	589,166
負債の部合計	12,918,449	13,470,021	△551,572
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
出資金	6,000,000	6,000,000	0
指定正味財産合計	6,000,000	6,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(6,000,000)	(6,000,000)	(0)
2 一般正味財産	38,149,626	38,379,435	△229,809
(うち特定資産への充当額)	(1,316,283)	(1,360,532)	(△44,249)
正味財産の部合計	44,149,626	44,379,435	△229,809
負債及び正味財産合計	57,068,075	57,849,456	△781,381

正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	120	120	
基本財産受取利息	120	120	
特定資産運用益	16	63	△47
特定資産受取利息	16	63	△47
事業収益	26,372,884	24,628,078	1,744,806
県受託事業収入	17,439,458	15,802,306	1,637,152
町受託事業収入	8,933,426	8,825,772	107,654
受取寄付金	20,000,000	20,000,000	
受取寄付金	20,000,000	20,000,000	
雑収益	30,654	58,774	△28,120
受取利息	654	774	△120
雑収益	30,000	58,000	△28,000
経常収益計	46,403,674	44,687,035	1,716,639
(2) 経常費用			
事業費	42,980,357	41,005,620	1,974,737
役員報酬	3,070,961	3,202,409	△131,448
給料諸手当	9,881,268	9,679,059	202,209
退職給付費用	471,333	489,475	△18,142
福利厚生費	1,728,617	1,738,337	△9,720
旅費交通費	508,210	134,670	373,540
通信運搬費	4,254,916	4,129,818	125,098
減価償却費	112,441	93,961	18,480
消耗什器備品費	155,634	365,200	△209,566
消耗品費	1,792,877	1,520,652	272,225
修繕費	2,177,010	202,946	1,974,064
印刷製本費	13,854,500	14,300,330	△445,830
燃料費	27,381	12,729	14,652
光熱水料費	1,200,313	950,778	249,535
賃借料	745,860	322,030	423,830
保険料	150,024	152,591	△2,567
諸謝金	240,600	186,000	54,600
租税公課	931,781	1,040,805	△109,024
委託費	1,330,289	2,244,444	△914,155
雑費	346,342	239,386	106,956
管理費	3,653,129	3,695,784	△42,655
役員報酬	767,736	800,597	△32,861
給料諸手当	1,905,623	1,872,726	32,897
退職給付費用	117,833	122,368	△4,535
福利厚生費	432,159	434,704	△2,545
会議費	26,720	22,538	4,182
旅費交通費	3,990	3,440	550
通信運搬費	51,537	41,111	10,426
減価償却費	28,110	23,490	4,620
消耗什器備品費	35,988		35,988
消耗品費	84,169	17,819	66,350
修繕費	880	25,564	△24,684
印刷製本費		14,520	△14,520
燃料費	2,519	1,720	799
光熱水料費	18,526	14,674	3,852
保険料	6,890	8,726	△1,836
租税公課	17,219	15,695	1,524

正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
委託費		7,521	△7,521
諸会費	79,500	76,800	2,700
雑費	73,730	169,771	△96,041
研修費		22,000	△22,000
経常費用計	46,633,486	44,701,404	1,932,082
評価損益等調整前当期経常増減額	△229,812	△14,369	△215,443
評価損益等計			
当期経常増減額	△229,812	△14,369	△215,443
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
前期損益修正益	758,780		758,780
前期損益修正益	758,780		758,780
経常外収益計	758,780		758,780
(2) 経常外費用			
前期損益修正損	758,777		758,777
前期損益修正損	758,777		758,777
経常外費用計	758,777		758,777
当期経常外増減額	3		3
税引前当期一般正味財産増減額	△229,809	△14,369	△215,440
当期一般正味財産増減額	△229,809	△14,369	△215,440
一般正味財産期首残高	38,379,435	38,393,804	△14,369
一般正味財産期末残高	38,149,626	38,379,435	△229,809
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	6,000,000	6,000,000	
指定正味財産期末残高	6,000,000	6,000,000	
III 正味財産期末残高	44,149,626	44,379,435	△229,809

財 産 目 録

令和5年3月31日現在

貸借対照表科目 (流動資産)	場所・物量等	使用目的等	金額
現金預金 普通預金	伊予銀行伊方支店 普通預金 愛媛信用金庫八幡浜支店 普通預金	運転資金として	33,358,801
		日本フルハップ引落口座として	358,801 0 円
		運転資金として	33,000,000
定期預金	伊予銀行伊方支店 定期預金	令和4年度受託事業分	9,734,121
未収金	愛媛県 伊方町	令和4年度受託事業分	165,120 円
流動資産合計			
(固定資産)			43,092,922
特定資産	現金預金 定期預金	伊予銀行伊方支店 定期預金	6,000,000
	退職給付引当資産 減価償却引当資産	伊予銀行伊方支店 定期預金 伊予銀行伊方支店 普通預金	7,784,090
その他固定資産	什器備品 有形固定資産	放射線環境モニタ 9台 パソコン 4台、展示ホールベンチ 1脚	152,850 円 38,212 円
	無形固定資産	会計・給与ソフトウェア	1 円
		職員に備えたもの 資産取得資金	191,063
固定資産合計			
資産合計			
(流動負債)			13,975,153
未払金	伊方町 セキ(株) 日本郵便(株) セキ(株) (株)プライサー 宇和島年金事務所	令和4年度職員派遣人件費	3,000,000 円
		えひめ原子力だより 印刷費	1,848,000 円
預り金		えひめ原子力だより 送料	1,005,720 円
		ホームページ保守管理業務委託	179,300 円
		保守監視・レンタルサーバー費用	132,000 円
		3月分社会保険料	120,315 円
		公益目的事業及び管理目的の業務に使用する小口費用	111,574 円
		所得税	39,750 円
		社会保険料	12,990 円
		雇用保険料	993 円
退職給付引当金		公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の 退職給付金の引当金である。	6,467,807
流動負債合計			
(固定負債)			6,450,642
固定負債合計			
負債合計			
正味財産			
			44,149,626

附属明細書

- 1 基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。
- 2 引当金の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。
計上の理由及び金額の算定方法は、財務諸表に対する注記 2 重要な会計方針に記載のとおりである。

財務諸表に対する注記

1 継続事業の前提に関する注記
該当事項なし

2 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品……………定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金……職員の退職給付の支給に備えるため、期末退職給付要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本金	6,000,000	0	0	6,000,000
小計	6,000,000	0	0	6,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	5,878,641	589,166	0	6,467,807
減価償却引当資産	1,360,532	△ 44,249	0	1,316,283
小計	7,239,173	544,917	0	7,784,090
合 計	13,239,173	544,917	0	13,784,090

4 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源の内訳は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正 味財産から の充当額)	(うち一般正 味財産から の充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
基本金	6,000,000	(6,000,000)	(0)	(—)
小 計	6,000,000	(6,000,000)	(0)	(—)
特定資産				
退職給付引当資産	6,467,807)	(—)	(6,467,807)
減価償却引当資産	1,316,283)	(1,316,283)	(—)
小 計	7,784,090	(0)	(1,316,283)	(6,467,807)
合 計	13,784,090	(6,000,000)	(1,316,283)	(6,467,807)

5 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	2,384,180	2,193,117	191,063

6 重要な後発事象

特になし

監査報告書

令和5年4月27日

公益財団法人伊方原子力広報センター

代表理事 高門清彦 殿

公益財団法人伊方原子力広報センター

監事 河野圭介 

公益財団法人伊方原子力広報センター

監事 細川学 

公益財団法人伊方原子力広報センター

監事 谷口良之 

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書

並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

【別紙1：公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第28条
第1項第2号に掲げる書類】

事業 年度	自	令和4年4月1日	法人コード	A006203
	至	令和5年3月31日	法人名	公益財団法人伊方原子力広 報センター

運営組織及び事業活動の状況の概要等について

1. 法人の基本情報について

法人の名称	公益財団法人伊方原子力広報センター		
設立登記日(注)	平成23年4月1日		
法人の目的	広く県民一般に対し、原子力及びその平和利用に関する知識の普及啓発を行うことにより、これらに対する認識を高め、もって原子力の平和利用の円滑な推進に寄与することを目的とする。		
主たる事務所の所在場所	都道府県	市区町村番地等	
	愛媛県	西宇和郡伊方町湊浦1995番地1	
社員の資格の得喪の条件 (公益社団法人のみ)			
社員の数(公益社団法人のみ)		人	

注 旧民法に基づき設立された法人にあつては、新制度への移行登記をした日付になります。

2. 事業活動等について

(1) 収支相償

収益事業等から生じた 利益の繰入割合	50%		
第2段階の合計	収入の額		費用の額
	43,236,135 円		42,980,357 円
収入>費用の場合の対応	物価上昇や各種料金の値上げ等による経費増への対応やこれらの影響を受けてやむを得ず縮小した令和5年度の普及啓発事業の事業水準を維持、拡大するために充当		

(2) 公益目的事業比率

公益目的事業比率 (①欄の額÷①欄～③欄の合計額)		92.2 %
①	公益実施費用額	42,980,357 円
②	収益等実施費用額	0 円
③	管理運営費用額	3,653,129 円

(3) 寄附を受けた財産の額

寄附を受けた財産の額	20,000,000 円	うち個人から	0 円
		うち法人から	20,000,000 円

(4) 金融資産の運用収入の額

金融資産の運用収入の額	790 円
-------------	-------

(5) 資産、負債及び正味財産の額

資産額	57,068,075 円	負債額	12,918,449 円
		正味財産額	44,149,626 円

(6) 遊休財産額

遊休財産額の保有上限額	42,980,357 円
遊休財産額	37,958,563 円

(7) 当事業年度の末日における公益目的取得財産残額

公益目的取得財産残額(①欄+②欄の合計額)		8,129,296 円
①	公益目的増減差額	1,976,446 円
②	公益目的保有財産の帳簿価額の合計額	6,152,850 円

(8) 理事、監事及び評議員の報酬等の額

理事等の報酬等の総額	4,003,006 円
(うち、退職手当の額)	0 円

(9) 事業の運営に関する行政庁からの勧告又は命令の有無

当事業年度の勧告又は命令の有無(注)	無
--------------------	---

注 当事業年度以前に受けた勧告又は命令であって、行政庁に改善の報告をしていないものを含みます。